

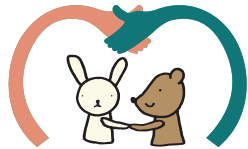
みんなの森ぎふメディアコスモス 市民活動交流センター

〒500-8076 岐阜市司町 40 番地5

☎ 058-264-0011 HP <http://g-mediacosmos.jp/center/>

E-Mail comm-act@city.gifu.gifu.jp

- 1P ----- 令和7年度 7月 協働事業提案強化月間のお知らせ
1P ----- 令和7年度市民活動支援事業
公開企画コンペを開催しました！
2~5P -- 令和7年度 市民活動支援事業 補助金交付決定事業
5P ----- NPO法人のみなさまへ
6P ----- 開館10周年記念イベント「ぎふマープルタウン」・ボランティア相談



協働事業提案強化月間のお知らせ

NPOの皆さんと市が協働しておこなう
公益的な活動・事業の提案を、集中して募集します

7月

7/1-7/31
火曜日 木曜日

一斉協議の場
8月28日(木)

岐阜市では多様な市民ニーズや社会課題の解決に向けて、公共サービスをよりきめ細やかに、効率的・効果的に実施するため「NPOとの協働事業推進のためのガイドライン」に基づいて、岐阜市の担当課とNPOとが事業遂行のための協議を実施しています。

特に7月を「協働事業強化月間」として位置づけ、協働事業の提案、呼びかけと協議を集中的に行うこととします。

- 対象事業 NPOと市が協働することで、よりきめ細やかに、効率的・効果的に実施することが可能なあらゆる分野の事業
- 募集期間 令和7年7月1日(火)から7月31日(木)まで
※提案に基づいて、呼びかけ・調整を行い、8月28日(木)に『一斉協議の場』を実施します
- 提出書類 協働事業提案書(市民活動交流センターのホームページからダウンロードできます)
<https://g-mediacosmos.jp/center/download.html>【添付書類:事業計画書、収支予算書】
- 提出方法 市民活動交流センターへ郵送・Eメールまたは直接提出してください



ロゴフォーム
申請用
QRコード



令和7年度

岐阜市市民活動支援事業 公開企画コンペを開催しました！

令和7年6月7日(土)・8日(日) みんなの森 ギブメディアコスモス ドキドキテラス

岐阜市では、地域社会の課題解決を目的として市民活動団体の事業を応援する「あなたの思いをかたちに 市民活動支援事業」を実施しています。平成16年度に始まり令和7年度で22回目の募集となり、事業費の5分の4以内で上限8万円を助成する新規事業支援に13団体、事業費の3分の2以内で上限20万円を助成する「拡充事業支援」には24団体、合わせて37団体からの応募がありました。6月7日(土)、8日(日)の2日間にわたって「公開企画コンペ」を実施し、発表団体は5分間の持ち時間のなかで、子育て、まちづくり、地域の文化や課題解決などさまざまな分野で創意工夫されたプレゼンテーションが行われました。同時に、コンペに参加し他団体の発表を聞き合うことで、団体同士の新たなつながりが生まれたり、コラボして活動する可能性を模索してみるなど、今後の市民活動に広がりが見出せるような機会にもすることができました。

市民活動支援事業の採択団体の活動の様子は、メディコス館内モニターで紹介するほか、市民活動交流センターのホームページや、広報ぎふ、会報紙で紹介していきます。



令和7年度 市民活動支援事業 補助金交付決定事業

市民活動支援事業の交付事業は、市長が委嘱した有識者や市民活動団体、自治会関係者など5人の委員による審査委員会の審査結果をもとに決定します。令和7年度は、コンペの審査により新規事業支援に7事業、拡充事業支援に20事業が採択されました。

選考の基準

- ① 地域社会の課題解決を目的とした事業ですか
- ② 市民への意識啓発波及効果の度合いが優れていますか
- ③ 着眼点が優れている事業ですか
- ④ 提案団体のさらなる発展、継続につながる事業ですか ※拡充のみ
- ⑤ 予算額から見た事業性の度合いは適切ですか ※拡充のみ



審査委員会の様子

新規事業支援

岐阜公園愛菊大輪会

金華地区の敬老会では、岐阜小学校の児童に菊花作りを指導していますが、高齢化や人口減少の影響で、出品者や出品数が年々減少しています。岐阜公園の菊花展を盛り上げるため、金華地区にとどまらず岐阜市内へと地域を広げ、菊花作りに興味がある人を募ります。更に羽島市や御嵩町の菊作りの達人から、土壌づくりなど一年を通して技術指導を受け、知識技術とともに研鑽を積みまします。

岐阜公園愛菊大輪会

Wave of Light in Gifu 2025

お空の赤ちゃんを想う
家族の居場所
bobo no tette

Baby Loss Awareness Week ～亡くなった赤ちゃんのご家族に思いを寄せる1週間～
毎年10月9日～15日の国際的な啓発期間が設けられ、最終日にはお空の赤ちゃんを想いキャンドルを灯す「Wave of Light」が開催されます。流産、死産、新生児死などで赤ちゃんを亡くされた当事者の方々だけでなく、経験がない方々にも知ってもらうための参加型イベントを開催します。



神輿による 地域コミュニティの 活性化

金華神輿奉賛実行委員会

金華神輿は約30年前から金華地区の自治会や水防団、消防団などの有志らが中心となり、毎年4月の第一土曜日に開催される「岐阜まつり宵宮」の神輿パレードに出場しています。金華地区の伝統行事でもある金華神輿の活動の存続と、地域コミュニティの活性化を図るため、チラシやポスター等の広報資料を作成するとともに、老朽化が著しい備品等を更新し、新たな担ぎ手の参加を呼びかけます。



選択で人生が変わる 幸せに生きるヒント

一般社団法人 みんなのいえ

子育て世代を対象に、選択理論心理学をベースとした「大人向けワークショップ」と、「子ども向け体験イベント」を実施します。ワークショップでは選択理論を活用した対話による「自分らしさ発見」、体験イベントでは、友達と協力してする達成ゲーム、自分の良さ見つけ等を行います。本事業を通して自己肯定感を高め、いじめ・不登校・ひきこもりなどの課題解決につなげることを目指します。



ぼくらのごちゃまぜ フェス ～多様な若者による 合同文化祭～

一般社団法人 ナラティブ・ラボ

異なる学校・出身・文化背景を持つ若者が、バンド演奏という「共通の目的」に向かって協力し、10月5日（日）開催の合同演奏会「合同文化祭」に出演します。本番までの4か月間、月2回合同練習を行い、共同作業、創作、発表を通じて自然な交流と相互理解を促します。外部の観客を迎えての発表は「自己肯定感獲得の場」であり、外国人留学生と協働する体験は文化的つながりを感じる経験となります。



子どもの声を まちづくりに～国連 『子どもの権利条約』 を羅針盤として

子どもの権利条約 ネットワークぎふ

本事業は「子どもの権利条約」の理念を広く市民に伝え、すべての子どもが尊重され、安心して成長できる社会を実現するための啓発活動と普及を目的とします。①11月に子どもの権利条約や岐阜市子どもの権利に関する条例に対する認知度アンケート調査1,000部を配布します。②イベントを実施します。第1部「子どもの権利を学ぼう」第2部「こどもにやさしいまちってどんなまち？」をテーマにイベントを開催します。



国史跡加納城跡

保存・活用

推進事業

国史跡加納城跡
保存・活用推進フォーラム

岐阜市の国指定史跡のひとつである加納城跡について、現状の景観保存に加え、史跡の歴史的、文化価値の理解を深めます。加納城や加納藩の歴史・文化の意義を市民に伝えて、国指定史跡の保存、活用の推進を目的とします。岐阜市民が加納城について知ること、学ぶこと、その広報から始めるため、①講演活動の継続と展開、②広報活動の拡大と可視化を主に行います。



拡充事業支援

親子で一緒に お金と仕事を考える プロジェクト

寺子屋MONEY

我が国は欧米諸国に比べ金融教育の遅れが課題となっています。昨今ではようやく中学校や高校での金融教育が始まりましたが、家庭でのマネー教育は未だ全体の3分の2程度にとどまっています。お金に対する教育は小学生から必要だと考えますが、具体的に何を教えたらいかがか解らないのが現状です。親子で楽しみながら金融について学び、お金と仲良く生きていける体験学習セミナーを開催します。



一日市場夏まつり

一日市場夏まつり
実行委員会

孤立を防ぎ地域のつながりを深め、安心の居場所をつくるため、地域住民の交流の場として、また子どもたちの夏の思い出としての夏まつりの継続を目指します。キッチンカーや飲食ブースなど、地域住民による出店ブースを増やすとともに、子どもゲームや和太鼓演奏、盆踊りやビンゴ大会を行います。子ども会、自治会、消防団等の若い人を巻き込んで、世代を超えた交わりの場を創出します。



織田信長公・ 織田有楽斎顕彰事業

織田信長公・
織田有楽斎顕彰会

岐阜市は文化庁「信長公のおもてなし戦国城下町ぎふ」重点支援地域として再認定されたものの「織田家」とのつながりや交流は皆無でした。そこで、織田信長生誕 500 年(2034 年)に向け「織田信長公・織田有楽斎顕彰会」を立ち上げて、信長公直系18代信孝氏、有楽斎直系17代の宗裕家元を招き、地元政財界、民間、行政と連携して交流します。織田家を岐阜市の財産として認識を深め記念事業を行います。



ぎふピンクリボン 2025

乳がん検診 普及啓発活動 実施事業

ぎふピンクリボン実行委員会

日本では年間約1万5千人の人が乳がんで命を落とし、日本人女性の9人に1人は乳がんを経験していると言われています。早期発見に最も大切な乳がん検診の受診率は未だ50%に満たず、日本は健康に対する意識がまだまだ低いのが現状です。そこで定期的な受診や自己触診の重要性を伝える普及啓発イベントを開催し、会場では一定の条件下で無料検診を行うことで定期的な受診につなげます。



「青木久衛日記」 解説・刊行事業

「青木久衛日記」解説研究会

原三溪(旧名:青木富太郎)は、横浜市などではよく知られた人物ですが、誕生から上京までを過ごした岐阜市での記述は少ないです。岐阜での動向をした知るために一番手がかりになるものは、父久衛が遺した「青木久衛日記」です。明治15年から18年まで4年間の日記を読み解き富太郎の動向を明らかにします。今年度は明治16、17年の日記の解説、刊行を目指します。



地域日本語教室

みいな
みんなのいばしょながら

多文化共生社会の実現に向け、昨年に引き続き地域の住民による対話(おしゃべり)や体験(一緒に何かをやる)を中心とした地域日本語教室の普及を目的に活動します。今年度は教室を出て、岐阜の歴史や文化に触れられる場所を訪れ体験の機会を増やします。また日本人全員で司会進行を担当し、外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学んで意識して使用します。



夏休み子ども朗読企画 「戦後80年 ひびけ! 岐阜市から平和の 未来へ!~被爆ピアノ と子どもたち」

朗読群像「羊の会」

デジタル化社会が進行する近年、子どもの本離れが進み、読書がもたらす「考える力」「感じる力」「表す力」など豊かな情操を育む機会が減少しています。戦後80年となる本年、広島から被爆ピアノを招き朗読とピアノをコラボさせ、夏休みに「平和」について考える機会を作ります。フリーアナウンサーの前田幸子氏に指導を受け、発声や朗読方法を学び、練習成果を舞台上で発表します。



拡充事業支援

脳と手先を使う ペーパーリーフ アートで 認知症予防

ペーパーリーフアート
倶楽部

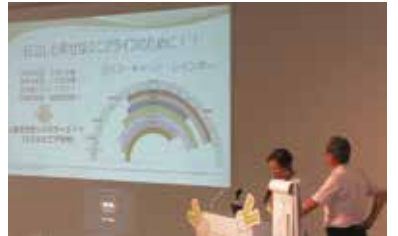
2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると予測されますが、趣味活動は脳を刺激して認知症の予防に効果的といわれています。高齢者が集まる介護施設や公民館で、ペーパークラフトのアート教材「プチッテ」を使ったアート体験を実施します。指先を使ってプチッテをちぎり、パズルのようにアート作品を作り上げる活動を広め、介護士などへのアンケートにより認知機能改善の効果を把握します。



ミドルシニアの 人生を 明るく生き活きと！

一般社団法人
ビーエルエス協会

人生100年と言われるなか、40～60代のミドルシニアの世代は将来に漠然とした不安を抱えています。「ミドルシニアの人生を明るく生き活きと！」というテーマで2回セミナーを開催し、自分自身の今までのキャリアを整理して、自分の課題をキャリアコンサルタントと相談して具体化します。グループ討論で自己の体験や知識を仲間と共有しながら孤立感を解消し、一歩踏み出すきっかけを作ります。



未来来プロジェクト

特定非営利活動法人
未来育プロジェクト
MeLike Project
岐阜支部

子どもたちの「不登校・ひきこもり」「いじめ」等の問題の裏には、先生、親など家族との関わり方が関係しています。現状の子育ては、ワンオペ育児や、祖父母のサポートを受けた共働きだったり、子どもとの関わり方に大人も不安を感じています。子育て相談や親子のコミュニケーション方法を教えてくれる場所や機会は僅かなので、「親子参加型イベント」を開催し問題解決を目指します。



ふれあい家事シェア 「園児とパパの COOKING」

特定非営利活動法人
ほっぺの会

家庭内における家事・育児の負担がまだ母親に偏りがちな現状を踏まえ、父親と園児のクッキングを通じて、家事シェアや育児参加の意識を高める機会を提供します。園児と父親を主な対象とし、親子でクッキング体験を行いながら、家事の大切さ、楽しさを伝える講座を開催します。また母親を対象に「お金の教育」「性教育」などのセミナーを実施し、家庭全体の育児力と生活力を高めます。



ひきこもり状態に ある方々・ ご家族への 居場所支援事業

岐阜ドレミファの会

「ひきこもり支援センター」開設に伴う行政の相談機能の拡充に呼応して、民間支援機関として「安心していただける居場所づくり」に注力します。ひきこもり状態にある方々およびその家族が安心して過ごせる居場所として、また地域の協力のもと茶道・陶芸・音楽などの伝統文化、芸術活動を体験できる空間として、「居場所」を年4回、「おしゃべり相談会」を月2回定期開催し、孤立状態から一歩踏み出す支援を行います。



子ども・若者の やってみたいを 応援する！

ごろごろ

前年度実施した事業「夜の子どもの居場所ごろごろ」で芽生えた、子ども・若者の「やってみたい」という声を起点に、地域資源を活用した実践的な取り組みを展開します。音楽やアート、食、異文化体験など、子ども・若者が自ら企画や運営に関わる活動を進めます。「子ども・若者が自らつくる居場所」として地域の大人がその挑戦を応援し、地域に根ざした市民を育みます。



ひきこもる方々と そのご家族の支援・ 居場所づくり事業

心のほっとサロン

ひきこもりは解決方法が見つからないまま8050問題はますます深刻化しており、親も子どもを社会に戻そうとしてきましたが、それ自体が問題を長引かせる一因ともなってきました。親や社会は本人が安心してひきこもれる環境づくりを理解してもらうため、家族会と相談活動で親の支援を行い、親子の信頼関係の回復を図ります。当事者による定期的な交流会と専門医による講演会を実施します。



旧県庁舎保存活用と 新しいぎふ町づくり

司町旧県庁舎
保存活用協議会

2022年「旧県庁舎保存活用」2024年「旧県庁舎を中心に歴史・文化の匂う、自然豊かな新しい“ぎふ町”を創ろう」を経て、2025年は「重要な文化財旧県庁舎を再度見直し、保存活用を再提案する」とともに、昭和100年の節目に「旧県庁舎が出来て、岐阜の町がどう発展していったのか？」を市民参加のウォーキング調査で辿ります。10月のエキシビションで成果を発表し、提案書を製作します。



拡充事業支援

TUNAGU GIFU ママ プロジェクト

特定非営利活動法人
こどもトリニティネット

一般のママ10組で構成する「ママ調査隊メンバー」が主となり、地域社会や岐阜の魅力に触れる体験・体感・実感します。ママ調査隊メンバー全員が情報発信業務を担えるようにし、地域に根ざした体験・取材・発信を行うことでママ自身の社会参画を促します。月に1回、座談会や行政・企業・教育機関との意見交換会、岐阜の商品・サービスのモニター調査会などを行い、その様子をコミュニティサイトに発信します。



にゃんともやさしい 共生プロジェクト

岐阜市地域猫の会

地域猫との関わりを通じて、高齢者が人とつながり、生きがいを感じられる場をつくることを目的としています。猫も人も「おたがいさま」の心で共に生きる、やさしい地域づくりを目指します。①季刊誌を発行して、地域猫に関する認知と理解を深めます(全3回)②猫フェスを開催して保護猫・地域猫の紹介、ペット防災、命の教育など楽しみながら共生について学ぶ機会を提供します③保護猫譲渡会を岐阜市内で月1回開催します



災害現場を知る人と 市民の交流事業

特定非営利活動法人
コミュニティサポート
スクエア

いつ発生してもおかしくない自然災害に対し、被災地支援活動の実践者として、被災地に出向いて活動することが、結果的に自分たちの被災時に外部からの助けを得やすくなることを市民にお知らせし、支援意識を持つ仲間づくりにつなげます。①災害救援活動に当たっている人と岐阜市民が直接交流できる食事会、被災写真洗浄会を実施②支援者ミーティング実施③被災地視察会を企画④リーフレット作成



ART LIFE GIFU 2025

ART LIFE GIFU

芸術的裾野を広げ、心豊かに暮らせるまちを目指すため、まちなかの魅力的な商店や空き家を会場とした展覧会を開く回遊型アートイベントを開催して5年目となる本年は、アートとの距離を縮め、まちの魅力を再発見し、エリアに人を呼び込み、新進作家に発表の場を提供し、芸術文化を繋ぎ育てることを目的に、岐阜城・金華山エリアをメイン会場として、岐阜とアートの親和性をより強く発信します。



親子で学ぶ リアル体験ツアー ～五感で感じる！ わたしたちの岐阜～

特定非営利活動法人クローバ

スマートフォンやタブレット、SNS普及や生成AIの普及により情報の得る方法や調べることが簡単で便利になりましたが、大人も子どもも“知ったつもり”で満足し、実際に地域と関わる体験が失われています。地域の今を五感で学び、当事者意識を育む体験が求められている今、本事業では親子で企業を訪問し、子どもは好奇心を通して学び、親はその気づきを見守ることで、家庭内の対話や地域への理解を深めることを目指します。



NPO法人のみなさまへ -事務所所在地の変更に伴う手続きはお済みですか-

定款に所在地が番地まで記載されているかどうか、移転先が岐阜県内かどうかなど、ケースによって手続きが異なりますのでご注意ください。



現在、岐阜市内のみに事務所がある法人の手続きについて

(A) 移転先が岐阜市内

- (a) 定款に地番まで記載している……………定款変更が必要です ⇒**手続①**
(b) 定款に「岐阜県岐阜市」と記載……………定款変更は必要ありませんが移転したことは届出ください ⇒**手続②**

(B) 移転先が岐阜県内(岐阜市外) ……………定款変更が必要です ⇒**手続①**

(C) 移転先が岐阜県外……………定款変更認証申請が必要です(詳細はお問い合わせください)

手続① 定款変更届 提出書類

- ・定款変更届出書(様式第5号)1部
※様式はホームページからダウンロードできます
- ・定款変更を議決した社員総会議事録の写し1部
- ・変更後の定款2部

手続② 移転登記の届 提出書類

主たる事務所の移転について1部

いずれの場合も法務局で 移転に伴う変更登記 が必要です

定款の変更がある場合

⇒登記事項証明書を添えて、定款の変更の登記完了提出書(様式6号)を提出してください。

定款の変更がない場合

⇒登記事項証明書の写しを添えて、主たる事務所の移転についてを提出してください。

ぎふマールタウン

小学生の子どもたちが
自分で考え協力しながら、仕事や選挙に挑戦します！

2025年7/21(月・祝) 10:00～15:00

みんなの森 ぎふメディアコスモス (岐阜市司町 40-5)
かんがえるスタジオ (受付) / ドキドキテラス / みんなのギャラリー

申し込みアドレスはこちら
<https://forms.gle/cjUyzfJJrWBAWUNj7>

- 国民カードをもらって住民になろう！
- 働くとマール(お金)がもらえるよ！
- マールタウンではいろんな仕事ができるんだ！

共催：メディオスクラブ
企画運営：ぎふマールタウン実行委員会
(一般社団法人 Nancy)
✉ gifu-marbletown@gifu-nancy.org

ボランティア相談

市民活動交流センターでは、岐阜市生涯学習センターと連携して、専門スタッフによるボランティア相談を受けています。
専門スタッフの対応日は、市民活動交流センターのホームページをご覧ください。

ボランティアで自分にできる事を
探している方、ボランティアの
力を借りたい団体・施設など、
皆さんからの相談を
お待ちしております。



ボランちゃん

相談事例

- ・ ボランティアを募集したい
- ・ 特技や経験を活かして活動したい
- ・ ボランティアを通して社会課題を学びたい

みんなの森 ぎふメディアコスモス 市民活動交流センター ボランティア相談窓口
9時30分～16時(不定期) TEL058-264-0011

ハートフルスクエア G 岐阜市生涯学習センター 生涯学習・ボランティア相談コーナー
9時30分～16時 月～金曜日(平日) TEL058-268-1055

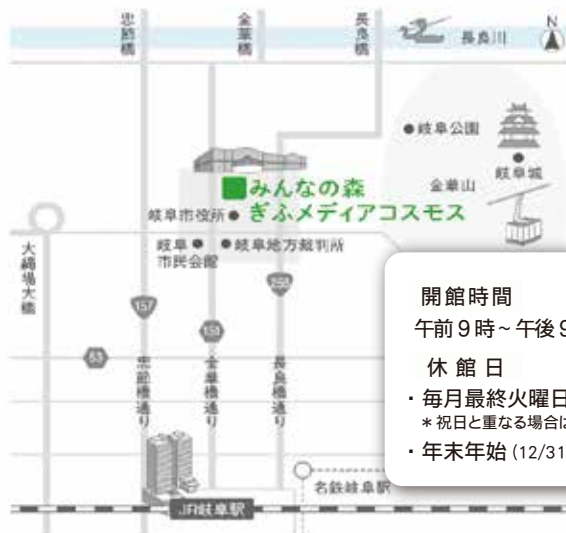
編集後記

◆昭和の時代だったら当たり前をやっていたことを、価値観やモラル、生活様式、環境など様々な事柄の変化に対応できているか心配になり臆病にならざるを得ないこの頃です。社会の変化についていけるか、周りを見渡しながら歩いている感じの毎日です。(岩月)

◆コロナ禍のなまった身体にムチを打つため、自宅でヨガを始めた。1コマ10分程度の動画をコツコツ続けていくうちに、身体が少しずつ変化していくのが実感できた。今では夢にまで見た前屈ができる。「もういい歳だから…」そんな言い訳をしている暇はない。思い立ったら始めよう!今から!(多田)

◆先日久しぶりの「ママ友」とランチ。子ども達や自分自身の近況報告が主な話題ですが、とても楽しい時間でした。子どものおかげでできたコミュニティが今も続いていることに感謝しています。メディアコスモスが開館10周年を迎えます。10年前の自分を思い返して時間の経過を実感しています。(浅井)

◆年明けに体調を崩して内科で色々検査して、自分の体質等を見直す契機となりました。口ポットみたいですが、所詮借り物のこの身体、ちゃんとメンテナンスせねば…ぐらいいに捉えて自己管理していくこととします。(小林)



開館時間
午前9時～午後9時
休館日
・ 毎月最終火曜日
* 祝日と重なる場合は翌日
・ 年末年始(12/31～1/3)